

感震ブレーカーアダプター ヤモリシリーズ

ヤモリ・デ・セット【GV-SET1】

取付説明書

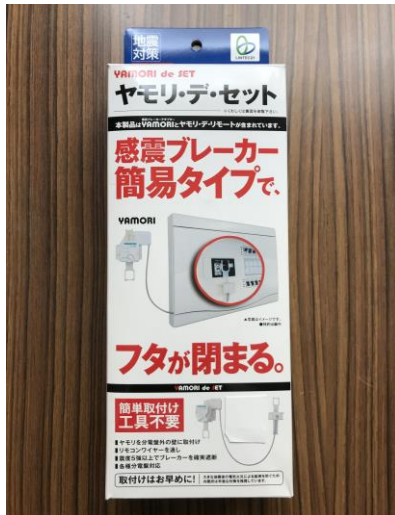


株式会社 リンテック21

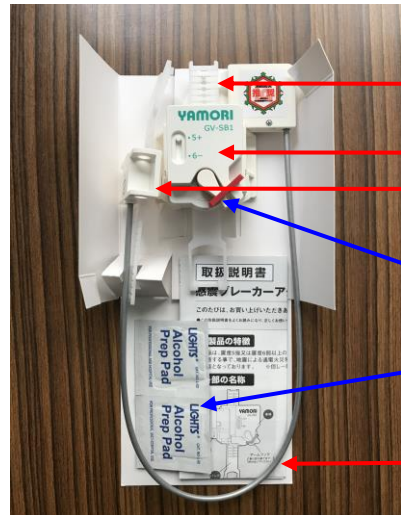
LINTEC21

2024.03.19

＜外装パッケージ＞



＜構成＞



- バンド
- ヤモリ本体
アクチュエーター
- アームフック
- アルコールパッド
×2
- ワイヤー

● 注意事項（必ずお読みください）

- (1) **アームフック（赤いフック）** は取り付け完了まで外さないで下さい。
外してしまうと、正確な取り付け位置がとれません。
- (2) 取り付け位置確定後、添付のアルコールパッドで分電盤の接着面を清掃して下さい。
アルコールパッド使用後は、必ず乾燥（2～3分程度）させて下さい。
- (3) パソコン、録画機器、炊飯器等の電機製品の電源が切れている事を確認して下さい。
- (4) 昼間の明るい時間帯に作業して下さい。（テスト時にブレーカーを遮断します。）
- (5) ホームセキュリティにご加入の場合、停電になる旨を事前に警備会社へご連絡下さい。
（事前通知しない場合、緊急出動がかかり別途費用が発生する場合があります。）
- (6) ご自宅内に人工呼吸器などの生命維持に関わる医療器具が設置されている場合は、
医療器具補助電源が確実に動作することをご確認の上、作業に取り掛かって下さい。

● よくある質問

◇セットアームがセット場所に固定できない。（レバーがかからない。）

ヤモリは垂直な状態でなければセットアームが固定できない構造となっております。
水平、斜め、逆さまの状態ではレバーがかかりませんが、不良や故障ではありません。

◇ヤモリはどこに付けるの？

漏電ブレーカーまたは、**アンペアブレーカー**へ取り付けいただきます。
（将来的にアンペアブレーカー撤去の可能性があります、漏電ブレーカーへの取り付けをお勧めしております。どちらも効果は同じです。） **※5ページの画像参照**

【備える】

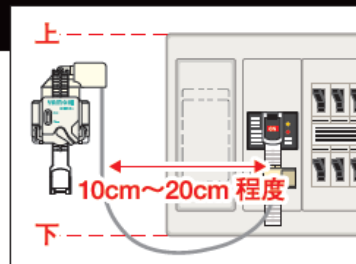
大地震により感震ブレーカーが作動すると、家中の電源が遮断され電気も消えます。
また、台風・事故などその他の災害でも停電は発生します。
常日頃からそのような災害を想定し、懐中電灯や災害用常備灯などの照明器具、
電池式ラジオなどの防災用品を併せてご準備いただく事をお願い申し上げます。

● 取り付け手順

①設置位置の確認

1 標準的な設置位置

- ヤモリ本体は分電盤の上下間に入る様に、ケーブルの間隔は10cm～20cm程度として下さい。
- ヤモリ本体の固定は分電盤外の壁面又は分電盤外部側面に取り付けて下さい。



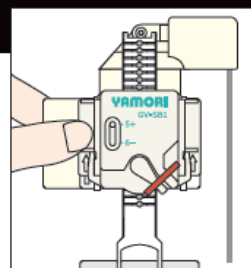
※ アクチュエーターをブレーカースイッチへ合わせ、本体を分電盤の左横へ設置するための位置合わせを行います。

※ 取り付け場所は、漏電ブレーカーもしくはアンペアブレーカーの上下何れかです。

②ヤモリ本体を分電盤の向かって左側、壁のクロスへ接着します。

2 ヤモリ台座の壁面接着固定

- アクチュエーターユニットとヤモリ台座の取付け位置を決め、①標準的な設置位置参照) 壁面及び分電盤をアルコールパッドで清掃し、よく乾かします。ヤモリ台座裏の小さい剥離紙を剥がし、壁に垂直に仮固定します。設置位置に正しく固定出来た事を確認したら、外に出ている剥離紙を引き抜き、ヤモリ本体を5回程押して本固定します。



※ 接着前、付属アルコールパッドを使用し接着場所のクロスを清掃して下さい。清掃後、2～3分完全に乾かして下さい。

※ 和紙素材の壁紙、土壁・砂壁・モルタル塗の壁等は接着できません。

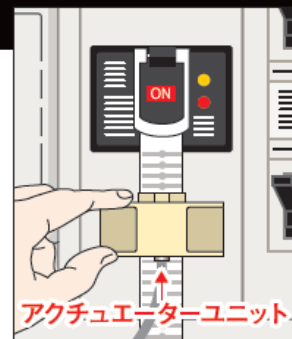
③アクチュエーター部分の設置

3 アクチュエーターユニットの分電盤接着固定

●バンドをブレーカーレバーに掛け、アクチュエーターユニットの剥離紙を剥がして分電盤に接着固定します。※注1、※注2

注1:この際、アクチュエーターユニットを軽い力で下側に引いた状態で接着して下さい。

注2:バンド位置の変更が必要な場合は、下記バンド位置変更を参照して下さい。



※ 接着前、付属アルコールパッドを使用し接着場所を清掃して下さい。
清掃後、2～3分完全に乾かして下さい。

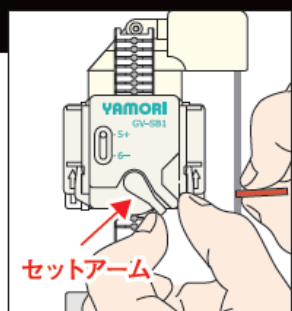
注1 : アクチュエーターユニットには若干の遊びがあります。

注2 : 6ページ参照

④アームフックの取り外し

4 アームフックの取り外し

●右手でセットアームの先端を軽くつまみ、左手でアームフックを手前方向に引いて外します。右手でセットアームを保持したまま、更に強くつまみセットします。



※ セットアームをつまみながら赤いアームフックを外して下さい。
セットアームはカチッと音が鳴るまでセット側（右方向）へ押し込んで下さい。

⑤動作テスト

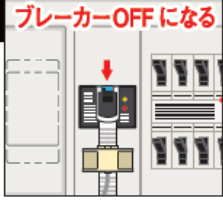
5 動作テスト

●ヤモリのテストスイッチを押し、ブレーカーのレバーがOFFになる事を確認します。問題がなければ再セットします。

テストスイッチ押す



ブレーカーOFFになる



※ 本体下部のテストスイッチにて動作テストを実施します。

※ ご家庭内全ての電源が遮断されますので1ページの注意事項を再確認して下さい。

⑥セット完了

※ 動作確認後セットアームを右側へ戻し、落ちたブレーカーをONに戻して設置完了です。

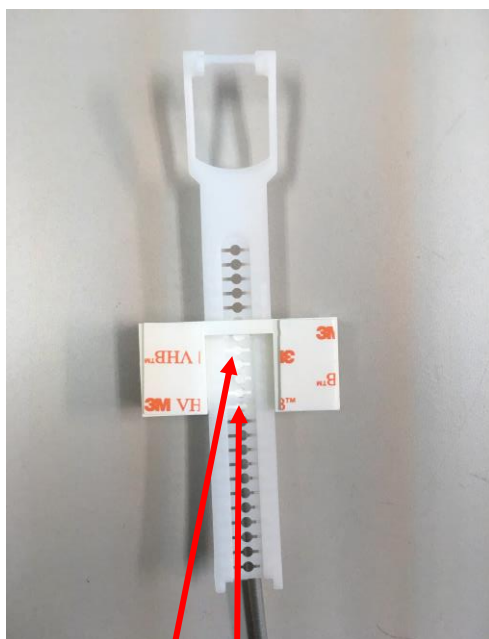
《設置イメージ》



アンペアブレーカー

漏電ブレーカー
(主幹ブレーカー)

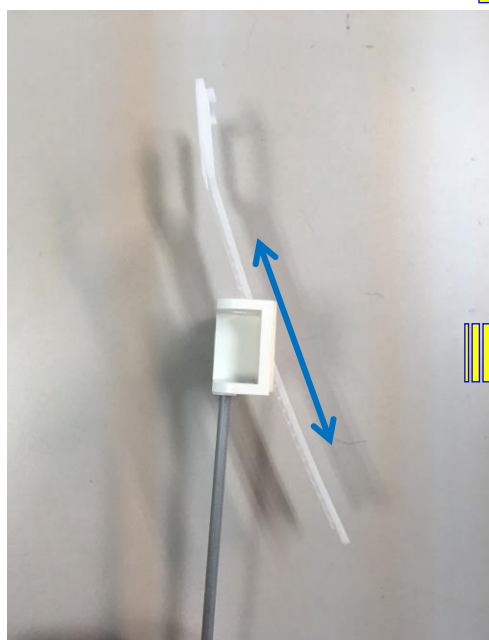
● バンド位置の変更方法



バンドは上記2点の突起にはめ込んで固定されています。



バンドの長さが合わない場合



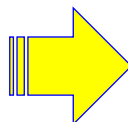
上記のようにバンドを外し矢印方向へ移動調整



長さが決定しましたら再固定

● ブレーカーのスイッチ 対応方法

①埋込型スイッチ

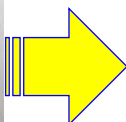


左記バンドの先端突起が埋込スイッチの凹みに入るようになっております。突起を凹みに入れ、位置合わせをして下さい。

②突起型スイッチ



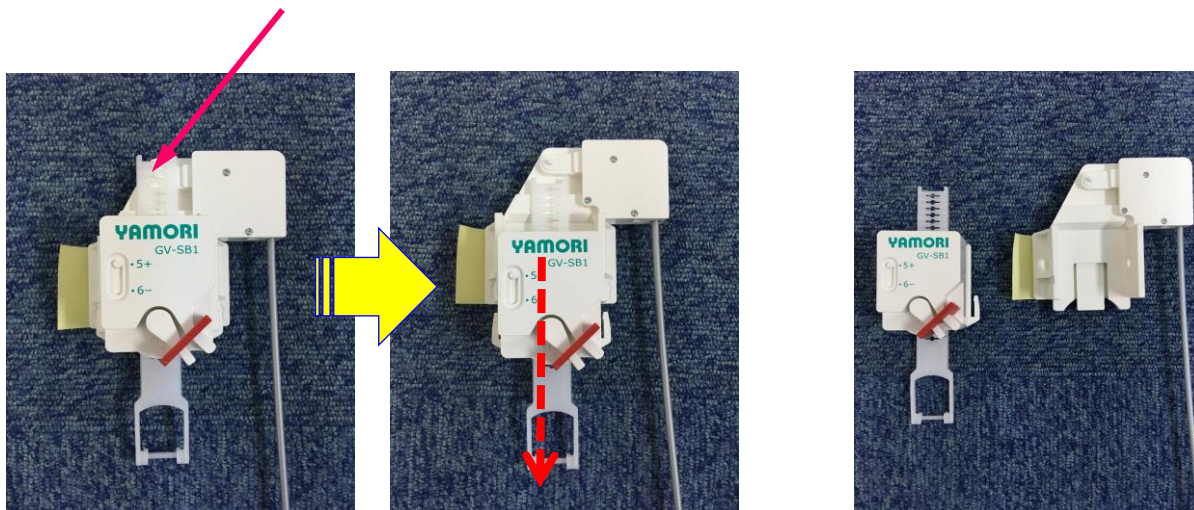
バンド先端の輪っか



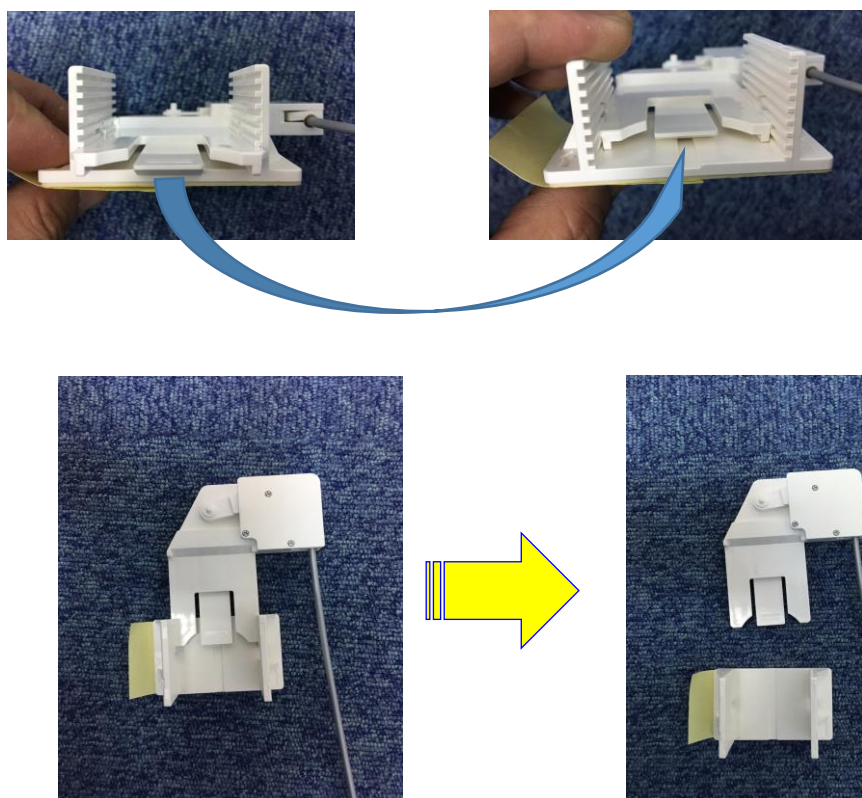
バンド先端の輪っかに突起型スイッチを引っ掛けるイメージで位置合わせを行う。

● ヤモリ・デ・セットからリモート部を外す方法 (リモートが必要ない場合、ヤモリ本体のみで設置するための準備)

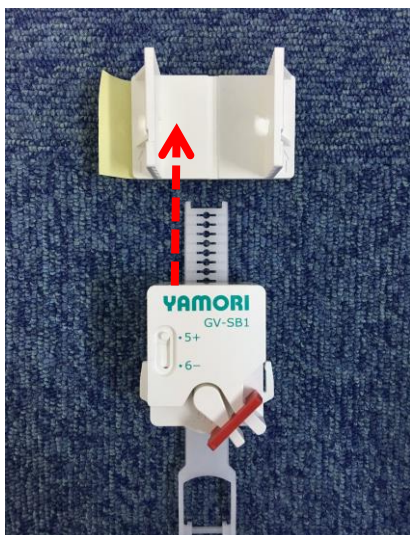
①バンドがはめ込んである突起を外しながら、ヤモリ本体を台座の下から抜いて外します。



②リモートの爪を外し、台座からリモートを引き抜いて分離します。



③最後にヤモリと台座を組み合わせます。台座の溝に合わせ、ヤモリを下から組み込みます。



スリットの溝は基本奥から2列目



取り外し完了

● 設置イメージ

【OPEN】



【CLOSE】



【SIDE】

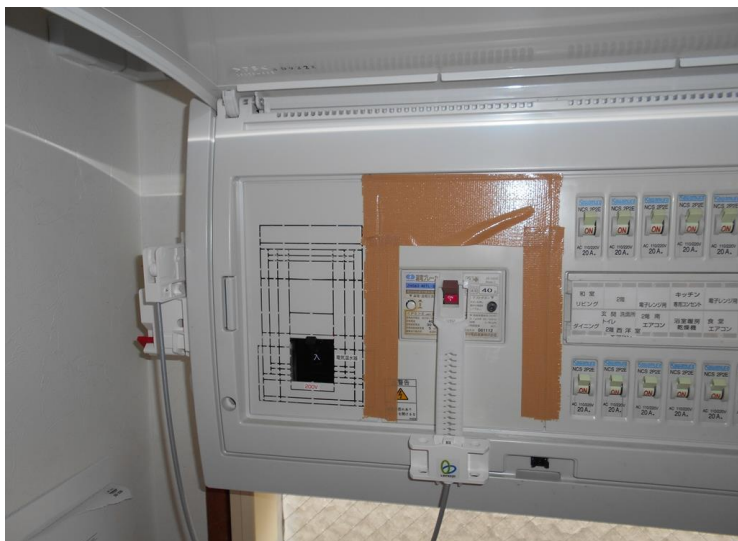


【UNDER】



● 取付不可（困難）例

例① スイッチが堅い



河村電器産業(株)製は堅い傾向があります。
分電盤のはめ合わせパネルが動く場合には、
画像のようにテープで固定する事で対応可能です。

例② スwitchストロークが長い



例③ アンペアが大きい（75A、100A等）



例④ 開閉器タイプ



これらの機器へは設置はできません。
ブレーカーへの交換をお勧めします。

※ 堅いスイッチのブレーカー、ロングストロークのブレーカーにつきましては、
追加オプション品のパワーヤモリ（別売）をご使用いただくことにより
対応可能になります。ぜひご相談ください。

● 作動後の復旧方法 注意点と手順

<感震ブレーカー作動後の復旧方法(注意点)>

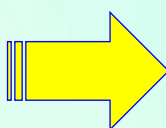
- ・建物が全壊や半壊となった場合には復旧しないで下さい。
- ・通話可能な電話と使用可能な消火器を用意して下さい。
- ・復旧作業は日中に、なるべく2名以上で行って下さい。
- ・電化製品のコンセントを全て抜いて下さい。

<感震ブレーカー作動後の復旧方法(手順)>

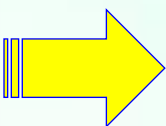
1. 最初に、分電盤の**子(分岐)ブレーカー**を**全てOFF**にします。
2. **【ヤモリ】**のレバーをロックされるまで右側に捻り**ON**にします。**※1**
3. **【ヤモリ】**がセットされている**ブレーカー**を**ON**にします。**※2**
4. 安全を確認しながら子(分岐)ブレーカーを1つずつ**ON**にします。



OFFの状態



ONの状



★漏電ブレーカーは、ONの状態に戻す時にリセットしないとスイッチが戻らないタイプがありますのでご注意ください。(リセットとは、リセットボタンを押しながら戻す、又は一度押してから戻す、スイッチを一旦下げきってから戻す、などの方法があります)